

# さくら ほっと NEWS



## 特集

### ▶ 医療安全管理の取り組み

▶ これだけは聞いておこう！

～インフォームド・コンセント～ P.2・3

## レシピ紹介

▶ 作ってみよう！～管理栄養士オススメレシピ～

牛乳入り貝だくさんみそ汁 P.3

## お知らせ

▶ 名古屋市大病院緩和ケアチームのご紹介

▶ レジ袋が有料になりました！

▶ ひろげよう「咳エチケット」

P.4

### 理念

当病院は、地域の中核医療機関として、高度かつ安全で開かれた医療を提供するとともに、質の高い医療人を育成します

### 基本方針

- ・ 大学病院として、高度先進医療を提供します
- ・ 高度情報化を進め、安全で開かれた医療を提供します
- ・ 医学教育を充実し、高い倫理観を持ち信頼される医療人を育成します
- ・ 名古屋都市圏の中核医療機関として、市民の健康と福祉を増進します

## 名古屋市立大学病院

vol. 7  
2008年11月

### 患者さんの権利等

#### 患者さんの権利

良質の医療を受ける権利  
情報を知る権利  
選択の自由の権利  
自己決定の権利  
機密保持を得る権利

患者さんは、人格や意思が尊重され、質の高い医療を平等かつ安全に受けることができます。  
患者さんは、ご自身の病気や治療について知ることができるとともに、十分にわかりやすい説明を受けることができます。  
患者さんは、ご自身の受ける治療について、ご自身で選択し変更することができます。また、他の医師の意見を求めることもできます。  
患者さんは、ご自身の受ける治療について、ご自身の意思に基づいて決定することができます。  
患者さんのプライバシーは十分に尊重されるとともに、個人情報厳正に保護されます。

#### 患者さんへのお願い

- 病院の規則や治療上必要な指示・助言を守って療養してください。
- ご自身の健康状態について、できるだけ正確に伝えてください。
- 説明を受けても十分に理解できない場合は、納得できるまでお尋ねください。
- 他の患者さんの権利を尊重し、暴言・暴力等の医療の妨げとなるような行為は行わないでください。
- 大学病院として医療スタッフを育成するため教育実習を行っていますので、ご理解とご協力をお願いします。



# 医療安全管理の取り組み

当院は、患者さんの貴重な生命を預かる病院として、安全で安心できる質の高い医療を提供する使命があります。また、特定機能病院として高度な医療の提供や教育を実施する中で、その責任体制や役割分担を明確にし、病院全体で安全管理の徹底を図っています。

ここでは、医療安全管理の取り組みとして、患者さんへ点滴される薬がどれだけの医療スタッフのチェックを経て患者さんのもとに届いているのかをご紹介します。

## 1 医師による指示（オーダー）

医師は患者さんのカルテから点滴を指示（このことを「オーダー」といいます）します。私が点滴のオーダー時に常に行っていることは薬剤の添付文書を常に確認することです。投与量、投与方法、投与時間、溶解液、溶解時の希釈率、などなどです。これは内服薬の処方時と同様です。私は白衣のポケットに、常に『ポケット医薬品集』を携帯しています。

私たちは常に細心の注意を払って点滴のオーダーをしており、安全かつ確実な医療の提供に努めています。

血液内科 リスクマネージャー 石田 高司



医師は電子カルテで点滴のオーダーをします

## 2 薬剤師によるチェック

薬剤師は、医師から指示のあった薬の量・組み合わせなど注射処方せんの内容がその患者さんに適切かどうかをお薬の専門家の立場から確認して、有効で安全な治療が行われるよう努めています。注射薬は2回以上の異なる薬剤師の確認を経て、患者さん毎に1日分ずつ供給されます。

薬剤部 首代みどり



薬剤師によりチェックが行われます

当院の電子カルテは、薬剤オーダーの際に最大投与量超過や併用禁忌のチェックがはたらくようになっている他、簡単に薬剤の添付文書（その薬剤の使用上の注意などがまとめた文書）を確認できるようになっています。また、似た名前の薬剤の誤投与を防ぐため、3文字以上の薬剤名の検索を必須とするなど、いろいろな方法で万が一のオーダーミスを防いでいます。

## これだけは聞いておこう！ ～インフォームド・コンセント～

インフォームド・コンセントとは、患者さんが医師から投薬・手術・検査などの診療行為の目的と内容について十分に説明を受け理解した上で、その方針に同意する又は同意しない事です。

今回は、そのインフォームド・コンセントを受ける際のポイントを解りやすくお伝えします。

- 1 医師から説明を受ける際は一人ではなく、家族や関係者と一緒に話を聞く。
- 2 医師に尋ねること・自覚症状など伝えることをあらかじめメモに書いて説明に臨む。
- 3 医師から説明を受ける際はメモを取る。
- 4 医師の説明でわかりにくいこと・納得いかないことがあれば、遠慮せずにわかるまで説明を求める。
- 5 正確な診断名・病態・病期(ステージ)などを聞き、書面による説明を受ける。
- 6 どんな治療方法があるのか、各治療法ごとの利点・欠点を聞く。また治療しない場合の経過を聞く。
- 7 その病院での当該疾患の治療実績を尋ねる。また他の医療施設で治療が受けられるかどうかを尋ねる。
- 8 病気や薬の副作用について少しでも不安があれば、その不安を率直に医師に伝える。
- 9 自分の病気について、書籍やインターネットなどで基礎知識を得る。
- 10 不安を感じたり、同意できない場合には、セカンドオピニオン(診断や治療方針についての別の医師による意見)を求めてみる。

大切なことは、患者さん自身がしっかり納得をして医療を受けることです。

【医療社会事業室】

### 3 看護師によるチェック

看護師は、薬剤部から届いた薬品について、手洗い・マスク装着などの感染対策に配慮した上で、医師からの指示書を確認しながら準備します。

準備後には、医師の指示どおり正しく作成できているか2人の看護師でダブルチェックし、確実に点滴を用意します。

15階北病棟 看護師 祖田・波多野



看護師によりチェックが行われます

### 4 患者さんの前で最終チェック

ダブルチェックの終わった点滴をベッドサイドに運び、患者さんに名前を名乗ってもらいます。患者さん一人ひとりが装着しているリストバンドと点滴のバーコードを照合し、確かに薬が患者さん用のもので間違いのないことを確認するなど、安全で確実な治療が実施できるよう努めています。

15階北病棟 看護師 祖田・波多野



専用の端末でバーコードを読み取って照合します



私たちは病気になると病院で様々な治療を受けますが、その中心となるのは薬による治療です。特に薬の点滴注射は重症の患者さんにとって大切な治療法ですが、医療事故の可能性を常に秘めています。日本医療機能評価機構が行った平成19年度の集計では、薬に関係する医療事故は77件（6.1%）でした。当院では患者さんに安心して点滴治療を受けて頂けるように、医療安全管理室の指導の下に各部署で様々な安全対策が取られています。

医療安全管理室室長 三島 晃

作ってみよう!

~管理栄養士  
オススメレシピ~

牛乳入り  
貝だくさんみそ汁



## レシピ紹介

温かい汁物が恋しくなる季節です。食卓でおなじみのみそ汁でも、牛乳を使うことでカルシウム豊富でこくのあるものになり、牛乳が苦手な人にもおいしく食べていただけるようになります。旬の野菜を使い、食べ方を工夫して、塩分を控えましょう。

### 牛乳入り貝だくさんみそ汁（2人分）

材料名	使用量	作り方	栄養価（1人分）
かぶ	60g	① かぶは一口大、にんじんはいちょう切り、ねぎは細切り、ごぼうは小口切りまたはさがぎにして水にさらす。 ② なべにだし汁とにんじん・ごぼうを入れて火にかけ、やわらかくなってきたら、かぶを加えて煮る。 ③ 野菜がやわらかくなったら、みそを溶き入れて、ねぎを加え、牛乳を注いで煮立てないように温める。	エネルギー 66kcal
にんじん	30g		たんぱく質 2.9g
ごぼう	40g		脂質 1.9g
ねぎ	20g		炭水化物 9.9g
だし汁	160ml		カリウム 281mg
牛乳	80ml		カルシウム 73mg
みそ	小さじ2		食物繊維 2.4g
			食塩相当量 0.8g

貝については、野菜・きのこ・いもの他、冷蔵庫の中に少し残った豆腐、肉など何でもOKです。

野菜に含まれているカリウムや食物繊維は、体外にナトリウムを排泄する働きがあります。また、牛乳に多く含まれるカルシウムは、骨をつくることだけでなく、高血圧や動脈硬化を予防します。

【医事課 栄養管理係】

名市大病院緩和ケアチームのご紹介



がんの患者さんには、診断早期から終末期にいたるあらゆる時期において、心身両面における様々な苦痛がみられることが知られています。これらの症状を可能な限り和らげて、患者さんの生活の質の維持、向上を目指す医療を緩和ケアと言います。2007年6月には、名古屋市立大学病院にも緩和ケアチームが結成され、少しずつその活動を広げていております。

現在当院の緩和ケアチームは、緩和ケア医、精神科医、臨床心理士、看護師、薬剤師を中心とした様々な職種が協力して、その専門性を活かした活動を行っております。最近では、緩和ケアチームとして、常時10名以上の患者さんを担当させていただいております。

がん診療連携拠点病院に指定されております名古屋市立大学病院は、地域を含め、緩和ケアの充実に貢献することが求められております。今後、緩和ケアチームとして、より一層、体制を充実させ、よりよいケアを提供できるよう努力を重ねたいと考えております。現在、緩和ケアチームの活動は、入院の患者さんが中心ですが、今後、より一層、体制を充実させ、さらに多くの患者さん、そしてご家族によりよいケアを提供できるよう努力を重ねたいと考えています。なお、当院に入院中の患者さんで、緩和チームの診療をご希望される場合は、主治医にご相談ください。

こころの医療センター 副センター長（緩和ケア委員会委員長） 明智 龍男

レジ袋が有料になりました！

名古屋市では、10月から瑞穂区を始めとした東部7区においてレジ袋の有料化が実施されました。当院の売店「グリーンリープス モール」もこの取り組みに参加し、10月4日(土)からレジ袋を有料化いたしました。現在は、売店でのお買物の際にレジ袋を希望される場合には、1枚につき3円又は5円の料金が必要となります。また、これに伴い「エコクーぴょん」の配布は、10月3日(金)をもちまして終了いたしました。

今後はマイバックをご持参いただくなど、資源の節約と地球温暖化の防止にご協力いただきますようお願いいたします。



シャチのジュンちゃん

ひろげよう「咳エチケット」\*感染対策室からのお願いです\*



マスクをせずに咳やくしゃみをする時、ウイルスは2mから3m飛ぶと言われております。インフルエンザや風邪などのウイルスによる病気を人から人へひろげないために、「咳エチケット」をひろげましょう!!



「咳エチケット」とは?...

- 咳・くしゃみなどの症状がある人はマスクを正しく着用しましょう。
- マスクがない時にはティッシュなどで口と鼻を押さえ、周りの人から顔をそむけましょう。
- 使用後のティッシュは、すぐにゴミ箱に捨てましょう。
- 咳・くしゃみを押さえた手は、すぐにきれいに洗い流しましょう。

～あなたの優しい心がけが、周りの人やあなた自身を感染から守ります～

私たち職員もマスクをして対応させていただく場合があります。声が聞こえづらいなどのご迷惑をおかけするかと思いますが、ご理解とご協力をよろしくお願いいたします。

名市大病院

検索

<http://w3hosp.med.nagoya-cu.ac.jp/>



このQRコードをケータイで読みとると簡単にホームページが見られます。

ホームページの検索方法の案内「名市大病院」で検索

クリック

名市大病院さくらほっとNEWSへのご意見・ご感想をお寄せください。E-mailは [hotnews@med.nagoya-cu.ac.jp](mailto:hotnews@med.nagoya-cu.ac.jp) まで!